

ふるさと納税で大学応援

宮崎市運用対象拡大へ

宮崎市は、ふるさと納税制度を活用した大学への寄付「大学版ふるさと納税」を運用している。民間の専用プラットフォームを活用し、県内の大学と順次連携。先月からは、3校目となる南九州大が新たに参画した。関係者は地域の高等教育を支える選択肢が広がると期待を寄せる。

同市は昨年12月、システム開発などを手がけるSCSK(東京都)が提供する教育機関応援特化型のふるさと納税プラットフォームを九州で初めて導入。モデル校として、宮崎公立大への寄付経路を創設した。

南九州大の参画は、今年3月の宮崎大に続き3校目。寄付者は、同制度を通じて各大学が提示するコースを寄付先に選ぶことで、各大学が取り組む研究や地域連携事業などを支援できる。寄付金は手数料を差し引いた上で、同市から大学側に翌年交付。寄付者への返礼品がない分、寄付金の大部分が大学側に渡るほか、寄付が控除対象とな

(川畑周平)

宮崎公立、宮崎、南九州大参画



寄付金の用途について説明する各大学の学長ら